



エコメッセ in ちば

～ つながれ ひろがれ エコメッセ ～



NPO

企業

行政

教育

地縁

■事業運営団体

☆エコメッセちば実行委員会

■協働パートナー

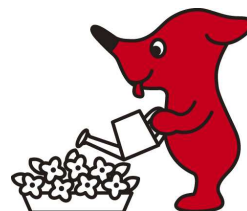
☆企業・市民活動団体・学校・千葉市・
千葉県・(一財)千葉県環境財団 ほか

■事業の手法

☆事業協力

■事業費

☆500万円



事業概要

“持続可能な社会の実現”をメインテーマとして、市民・大学・企業・行政による対等なパートナーシップのもと協働パートナーの集合体である実行委員会を組織し、平成8年から継続して開催している千葉県最大の環境イベントです。

21回目となった平成28年度は、出展団体数100団体で来場者数8,500人、当日の運営には50名を超える市民ボランティアにも協力いただきました。

協働までの経緯

「エコメッセinちば」が生まれたきっかけは、パートナーシップを推進することを目的の一つに、千葉県環境財団が開催した「環境シンポジウム'95千葉会議」です。

当時千葉県では環境学習の指導者づくりの事業として「エコマインド養成講座」が実施され、受講者は参加体験型学習により合意形成の手法を学んでいました。

この講座を修了した市民を中心に、企業・行政の実行委員が対等な立場で、会議の企画から運営の全てに関わりました。

これに参加し、さらに環境保全の輪を広めたいと思う企業人や市民が「言いたしっぺ会議」というものを立ち上げ、多くの人を巻き込み、その思いを合わせて創りだされたのが「エコメッセちば1996」で、幕張新都心進出企業、千葉県、千葉市、市民を巻き込み、協賛金を集め、ゼロから作りあげた初めてのイベントとなりました。

当初は、多様な主体が個々に開催していた環境イベントを集約するイベント持ち寄り型の「環境活動市」として開催し、2年目以降数年間は、行政の補助金等公的資金が予算の半分以上を占めるなど行政主導型でした。

その後、一定の成果を上げたとの判断から平成13年度で県の補助金がなくなりましたが、これまでイベントに関わってきた市民活動団体等が事業の継続を希望し、平成15年度に県の協働事業提案制度に応募・採択されたことから、平成16年度、新たな企画も盛り込み、幕張メッセ国際会議場を会場とした、現在の形である

「環境保全活動見本市」が大々的に開催されることになりました。また、協働の取組を広げるために、エコメッセの取組を「エコメッセ・マニュアル」としてまとめ、発行・公開しました。

これを契機に、平成17年度以降、行政も協働事業として応分の負担金を出すようになりました。

このような活動が評価され、平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(環境教育・普及啓発部門)を受賞しました。

平成28年度で21回を迎えましたが、平成19年から実行委員長は、市民団体である「環境パートナーシップちば」の代表が務めています。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①当年度の実行委員会・運営委員会のメンバー決定(4月)
- ②運営委員会及び部会開催(月1回)
- ③実行委員会(全体会議)開催(年2～3回)
- ④出展団体同士の協働を進めるための交流会(年5～6回開催)

主な協働パートナーとの役割分担

市民・企業・大学・行政関係者が対等な立場で実行委員会を組織し、イベントの企画運営、広報、出展管理、事務局などをボランティアで担っています。

実行委員会には運営委員会を置き、その中に企画部会、広報・交流部会を設けて必要に応じ開催し、全体会議で事務局とも情報を共有しながら準備を進めています。



協働事業によって生まれた成果

- 平成16年度に県との協働事業として実施したことにより、改めて互いの立場や役割を明確にし、現在の大きな見本市が開催できるようになりました。
- 社会の持続可能性のためには、公共的活動に市民が主体的に関わるとともに、地域が積極的に活動し、社会を構成する全てのセクター間のパートナーシップが必要であることが、エコメッセを通して出展者・来場者に理解されてきています。

今後力を入れていきたいこと

エコメッセちばの更なる啓発と環境保全・改善活動を活発にするため、つぎの取組を実施していきたいと考えています

- ①環境保全活動見本市に出展する団体からも実行委員に入ってもらい、年数回分野別交流会にて団体同士の検討会や勉強会も開催する。
- ②エコメッセちばでの交流を通じたつながりから、県内の主な団体・地域団体と協働連携した活動を応援する。

♡ コラボのコツ!!

- ★実行委員会として活動を展開
- ★エコメッセマニュアル作成
- ★イベントのみで終わらず、各団体の交流を重視

環境啓発の草の根活動として取り組み、環境に取り組むさまざまな団体が一堂に会する「エコメッセ in ちば」を開催するための団体による「エコメッセ実行委員会」として活動を展開することで、当事者意識を持ちながら開催することができました。多くの団体が参画するため、マニュアルを作成し、その目的や手法を常に共有することを心がけたことも、長年にわたり継続開催することにつながっています。

また、イベントに参加する団体は展示等に手いっぱい、その日限りで関係が途切れてしまいがちなため、平成24年からは、各団体の連携・協働のきっかけ作りのための交流会を年5回程度開催し団体の繋がりを強めています。



運営団体マネジメント&活動実績

***エコメッセちば実行委員会** <http://ecomesse.com>

【活動開始年】平成8年 【代表者】桑波田和子 【住所】〒260-0024 千葉市中央区中央港1-111-1 環境財団環境活動支援課気付
 【TEL】080-5374-0019 【事業担当者】桑波田和子 【e-mail】info@ecomesse.com 【正(活動)会員数】団体 34 / 個人3(平成29年4月現在)

■ 広報ツール

WEB ムルマガ 広誌 ブログ FB tw

■ 協働事業の実績

企業 行政 教育 地域 NPO

■ これまでに支援を受けた補助金等

【補助金】①県NPO協働事業(H16) ②東京ガス補助金(H20) ③ちば環境再生基金(H21~29)
 ④千葉市補助金(H9~13・15) ⑤千葉県補助金(H9~13)

■ 表彰歴・マスコミ掲載歴等

・環境省:地球温暖化防止活動環境大臣表彰(H19)
 ・パリエフェムでの広告放送
 ・朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、千葉日報、地域新聞、NHK、千葉テレビなど多数掲載

▼ 収入の内訳(平成28年度)

